

今年はコロナウイルス対策として例年のような夏まつりが開催できなくて残念に思っていたところ、子ども達から「ことし夏まつりないか？」という声が聞かれました。そこで皆で話し合って協力して夏まつりごっこをする事となりました。子ども達に「どんな風に夏まつりしたい？」と聞くと上手くイメージ出来なかったようで「う〜ん…」と考え込んでいる子が多く、「じゃあ去年の夏まつりどんなんやったか思い出してみよう」と提案すると「わに叩くのあった」、「ゲームあった」、「ジュースあった」と去年の思い出を沢山答えてくれました。「その中でやってみたいのある？」と尋ねると「わにのやつしたい」という声が上がりました。「もぐら叩きたい」とある子が言うのと他の子ども達も「それがいい」と満場一致でもぐら叩きゲームに決まりました。「一個だけやと寂しいな〜」という声がかれ「じゃあ食べ物屋さんする？」という意見が出ました。本物の食べ物売りたいという事で「本物はみんな作れんのかな？」というのと「あ〜、そっか〜」「作れんわ〜」とまた考え込み、「お化け屋敷したい」という意見と「迷路がいい」という意見が出てきました。「じゃあ二つ合わせたお化け屋敷迷路する？」と聞くと「それしたい！」と意見がまとまり、【もぐら叩き】と【おばけ迷路】を開催することに決めました。

## ～夏まつりごっこのお店作りの様子～

### もぐら叩き屋さん

もぐら叩き屋さんでは、まずもぐらを作る素材をどうするかを話し合っていました。

保: 何で作ったらいと思う?

紙コップがいいんじゃない? (A)

紙コップ叩いたら壊れると思う (B)

保: このくらいの大きさのものないかな?

そうやって子ども達に部屋にあったペットボトルを見せると…

ペットボトル使えばいいんじゃない!? (C)

ペットボトルに絵描いて貼りたい! (D)

こういった子ども達の話し合いがあり、下の写真のようなもぐらが出来ました。

もぐらは図鑑や絵本を参考にして描き上げていきました!



看板や各グループに配布のチラシを作っています



### おばけ迷路屋さん

おばけ迷路では、まずどんなおばけを作りたいかを話し合いました。

保: おばけってどんなおるかな?

う〜ん…。わからん (E)

保: じゃあ絵本見てどんなおるか調べてみよう!

子ども達が参考にした絵本は「いちにちおばけ」や「おばけなんてないさ」

保: からかさおばけがいい (F)

ちょうちんおばけ作りた〜い (G)



子ども達のイメージが絵本によって固まってきたので、保育教諭が紙コップ、お皿、画用紙など様々な素材を用意すると自分達のイメージを具現化しようと試行錯誤したり、友達と協力して制作したりしていました。おばけが出来上がるまで遊びの部屋に運んで設置しました。「このおばけ怖がってくれるかな〜」と言いながら色々な所に貼っていました。



ここに貼ったら怖いかな〜?

「赤い手形ついたら血みたいで怖いんじゃない?」という子ども達のアイデアから赤い手形の壁ができました。



←自分達もおばけになってお客さん驚かせたい!との声も上がったので自分達が隠れる場所を決め驚かす練習もしています。



7月に入ってから毎日のように夏まつりごっこの準備をしてきました。いよいよ来週8/3〜夏まつりごっこが始まります。子ども達も指折り数えて楽しみにしている様子が見られます。友達と協力して制作したら良いもの出来るかと試行錯誤して自分たちで一から作った夏まつり、子ども達の思い出に残れば嬉しいと思います。